

令和 6 年能登半島地震 被害・復旧状況カルテ

施設等名称	宇加川漁港		
位置図	地番	宇加川地先	
施設概要 発災当初の 状況	被害額	30,907,000	円
	護岸の水叩工の沈下、亀裂 係船護岸の傾き、エプロンの沈下、亀裂、石積の開き 船揚場の舗装版の亀裂 泊地の土砂堆積		
被害状況詳細	復旧延長 L = 106.0m 船揚場28 L=6.8m 係船護岸25 L=18.0m 係船護岸24 L=19.2m 14号護岸 L=12.0m 係船護岸23 L=31.5m 泊地35 A=1,500m ²		
復旧状況 今後の方針 (R7.2.1現在)	6月11日災害査定実施 工事発注まで危険箇所はバリケード設置中 (護岸)(B-14・30)沈下した水叩工を打ち替える。 (係船護岸)(25)護岸の傾きについて原型復旧する。 (24)腹付けコンクリートで復旧する。 (23)亀裂の生じたエプロンを打ち替える。 (船揚場)(28)亀裂の生じた舗装版を打ち替える。 (泊地)(35)津波堆積土砂の浚渫を行う。浚渫範囲や土量は実施設計時に深浅測量を行い決定する。		
写真	撮影日時		